

<別表> 開催要項における同一地域の定義について

No.	地域名	対 象 市 町 村
1	鹿角地域	鹿角市、小坂町
2	北秋地域	大館市、北秋田市、上小阿仁村
3	山本地域	能代市、藤里町、三種町、八峰町
4	南秋地域	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
5	秋田地域	秋田市
6	由利地域	由利本荘市、にかほ市
7	仙北地域	大仙市、仙北市、美郷町
8	平鹿地域	横手市
9	雄勝地域	湯沢市、羽後町、東成瀬町

<付則> 団体戦のチーム構成の考え方

秋田県の中学生のバドミントン選手は学校単位で行われる中体連の主催試合の団体戦に参加出来ない選手が多い現状を鑑み、かつ多数のチームに参加をしていただきたいことから補充措置を設定します。しかし、有力選手が1チームに集中する不公平な状況为了避免のため、一定の制限事項を設定します。

**補充は基本同一地域とします。同一地域に補充可能者が存在しない場合は他地域からの補充も可とします。**

- 例 -

- ① 松ジュニア（秋田市） 男子3名、女子2名  
女子1名が不足、他チームから補充することで参加可能
- ② 竹中学校（能代市） 男子2名、女子2名  
男子と女子それぞれ1名が不足。他チームから1名ずつ補充することで参加可能
- ③ 梅ジュニア（由利本荘市） 男子6名、女子6名  
2チームの編成が可能のため、梅ジュニアA、梅ジュニアBで参加可能
- ④ 桜ジュニア（湯沢市） 男子1名、女子2名  
男子が2名、女子1名が不足するが、3名を他チームから補充することで参加可能
- ⑤ 桃中学校（横手市） 男子3名 杉ジュニア（横手市） 女子3名  
合同すれば参加人数を満たすため、1チームで参加可能
- ⑥ 萩ジュニア（鹿角市） 男子4名、女子6名  
男子2名と男子2名に分けそれぞれに1名の補充は不可、参加は1チームのみ
- ⑦ 鶴クラブ（にかほ市） 男子8名、女子9名  
2チームの編成と男子1名を補充して、3チームで参加可能